

事業の概況

■ 預金

預金は、半期中101億6百万円増加し、中間期末残高は5,188億98百万円となりました。このうち普通預金は、半期中163億8百万円増加し、中間期末残高は3,615億13百万円となりました。

■ 貸出金

貸出金は、半期中23億37百万円増加し、中間期末残高は312億49百万円となりました。これらはすべて個人向け貸出金であります。

■ 有価証券

有価証券は、半期中97億31百万円減少し、中間期末残高は4,605億95百万円となりました。このうち国債は765億79百万円であります。

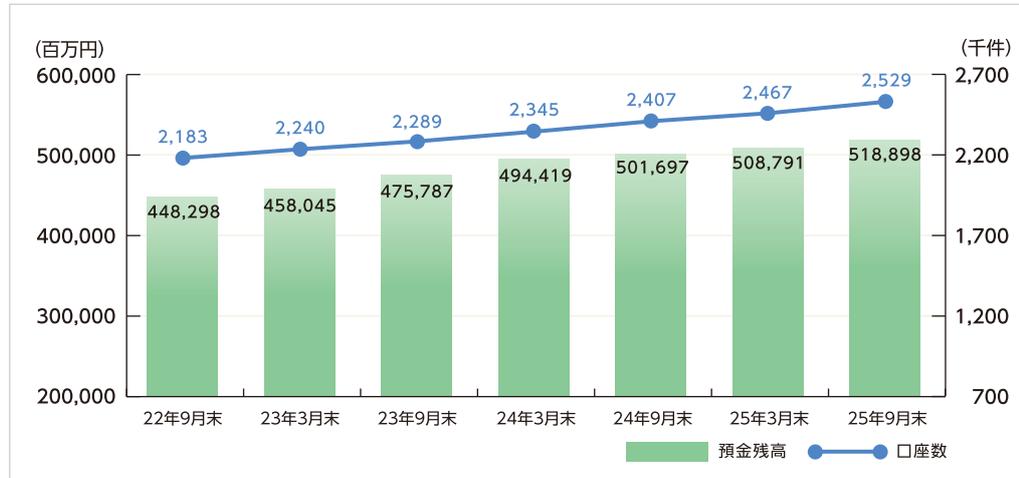
■ 損益の状況

収益につきましては、貸出金残高の増加に伴い貸出金利息が増加し、資金運用収益が増加しました。公営競技等の決済手数料が増加し、役務取引等収益が増加しました。国債等債券売却益が減少する一方で、外国為替売買益が増加し、その他業務収益が増加しました。投資信託売却に伴う株式等売却益の増加により、その他経常収益が増加しました。これらにより経常収益は、前中間期比27億44百万円増加し、117億62百万円となりました。費用につきましては、預金金利の低下により資金調達費用が減少しました。貸出金残高の増加に伴って支払保証料が増加し、役務取引等費用が増加しました。国債等債券売却損が増加し、その他業務費用が増加しました。投資信託売却に伴う株式等売却損の増加により、その他経常費用が増加しました。システムの減価償却費が減少する一方で、広告宣伝費が増加し、営業経費が増加しました。

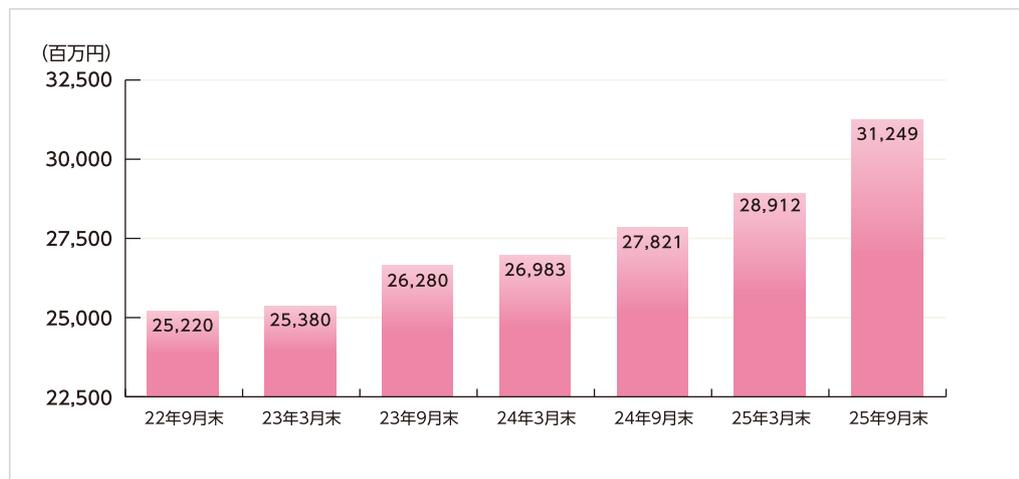
これらにより経常費用は、前中間期比7億48百万円増加し、88億60百万円となりました。このほか、システム機器更改に関連した固定資産処分損12百万円、法人税等11億21百万円を計上いたしました。

以上の結果、経常利益は、前中間期比19億96百万円増加し、29億1百万円となり、中間純利益は、前中間期比13億7百万円増加し、18億10百万円となりました。

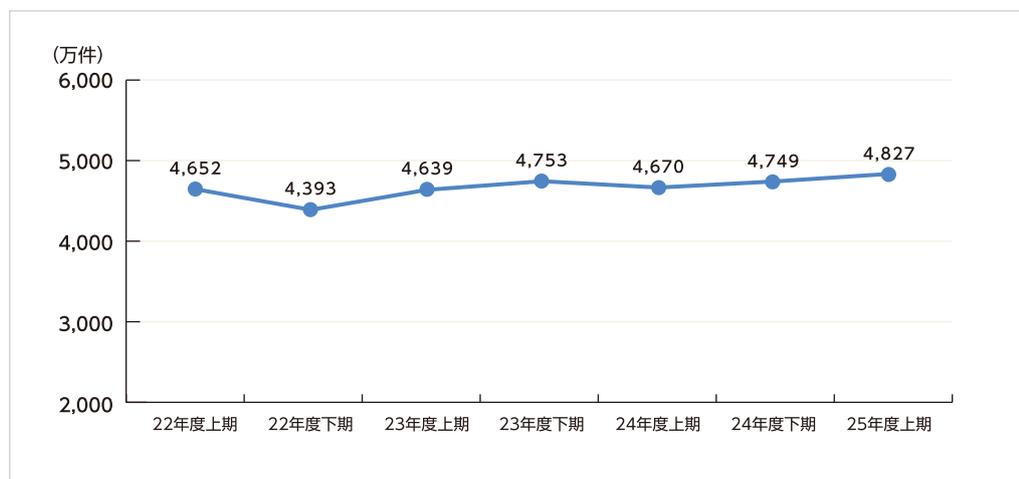
■ 預金残高と口座数の推移



■ 個人向けローン残高の推移



■ ネット決済件数*の推移



*通常の振込とXMLを利用した即時決済取引、toto関連決済取引およびJNBカードレスVisaデビット決済の合計件数